

令和3年度 薬学部 別表（1）

薬学部 1学年 前期

科目名		単位	備考
基礎科目	Freshman English A	1	必修
	English for Healthcare Communication	1	
	ヒューマン コミュニケーションA	1	
	健康と運動の科学	1	
	アカデミックスキルズ	1	
	化学の基礎	1	
	物理の基礎	1	
教養科目	薬学の基礎としての数学	1	3科目選択必修
	ドイツ語A	1	
	フランス語A	1	
	中国語A	1	
	日本語文章論A	1	
	文学A	1	
	美術A	1	
	人間と宗教	1	
	ジェンダーの社会学	1	
	社会関係と自己	1	
	民主主義と政治構造	1	
	法学	1	
	数学A*	1	
	医療心理学	1	
	感染症とバイオセーフティ	1	
	植物と健康の科学*	1	
	情報リテラシー	1	
	療法的な音楽活動	1	
	医療人のための教養とマナー	1	
	倫理学	1	
専門科目	漢方薬になる動植物	1	必修
	薬学への招待	1	
	人体の成り立ちと機能(総論)	1	
	生命活動を担う分子(生命の基本単位)	1	

薬学部 1学年 後期

科目名		単位	備考
基礎科目	人の行動と心理	1	必修
	ヒューマン コミュニケーションB	1	
	健康とスポーツの科学	1	
	チーム医療の基盤	1	
	Freshman English B	1	
	Paragraph Writing	1	
	生物統計	1	
教養科目	ドイツ語B	1	3科目選択必修
	フランス語B	1	
	中国語B	1	
	日本語文章論B	1	
	文学B	1	
	美術B	1	
	医療人としてのコミュニケーション入門	1	
	薬用植物の科学	1	
	ジェンダーの社会学	1	
	歴史遺産への招待(京都)	1	
	法学	1	
	数学B*	1	
	感染症とバイオセーフティ	1	
	死生観	1	
	近代家族論	1	
	国際政治学	1	
	ヒトのための地球環境論	1	
	植物と健康の科学*	1	
	ポータランド州立大学サマープログラム*	1	
	感性を掘り下げる色彩と造形	1	
医療人のための教養とマナー	1		
倫理学	1		
専門科目	熱力学・化学平衡概論	2	必修
	有機化合物の構造と性質	1	
	人体の成り立ちと機能(神経・骨格・筋・消化器)	1	
	生命活動を担う分子(細胞構成因子)	2	
	初年次体験実習	1	
	薬学演習	1	

専門科目	基礎サイエンス実習	2	必修(通期)
専門科目	薬用植物・生薬演習	1	必修(通期)
基礎科目	地域医療入門	2	必修(通期)

前期必修科目数 15科目

前期必要単位数 15単位

後期必修科目数 16科目

後期必要単位数 18単位

通期必修科目数 3科目/必要単位数 5単位

最低履修科目数 34科目/必要単位数 38単位

※太字は実習・演習科目

*は開講しない科目

薬学部履修要項 別表(2)

学年	科目分類	授業形態	科目名	開講期	単位数	必修選択	対象科目	科目責任者	
								部門	名前
第2学年	基礎	講義	薬学英語の基礎1	前期	1	必修		富士吉田教育部	高橋 留美
	専門	講義	物質の状態と変化	前期前半	1	必修	○	生物物理化学	合田 浩明
	専門	講義	有機化合物の反応	前期前半	1	必修	○	医薬化学	金光 卓也
	専門	講義	生命活動を担う分子(物質輸送とエネルギー産生)	前期前半	1	必修	○	生物化学	板部 洋之
	専門	講義	人体の成り立ちと機能 (神経・感覚器・皮膚・泌尿器・消化器)	前期前半	1	必修	○	生理・病態学	巖本 三壽
	専門	講義	化学平衡	前期後半	1	必修	○	生体分析化学	加藤 大
	専門	講義	人体の成り立ちと機能 (循環器・血液・内分泌・生殖器・遺伝)	前期後半	1	必修	○	生理・病態学	谷岡 利裕
	専門	講義	薬の宝庫としての天然物	前期後半	1	必修	○	天然医薬治療学	川添 和義
	専門	講義	生命活動を担う分子(代謝とその調節)	前期後半	1	必修	○	生物化学	小浜 孝士
	専門	講義	薬の作用と生体内運命	前期後半	1	必修	○	薬理学	野部 浩司
	専門	講義	個人・集団・社会と健康	前期後半	1	必修	○	衛生薬学	原 俊太郎
	専門	講義	微生物と感染症	前期後半	1	必修	○	感染制御薬学	石野 敬子
	基礎	講義	薬学英語の基礎2	後期	1	必修		富士吉田教育部	高橋 留美
	専門	講義	物質の構造	後期	1	必修	○	生物物理化学	合田 浩明
	専門	講義	医薬品の検出と定量	後期	1	必修	○	生体分析化学	加藤 大
	専門	講義	官能基の化学	後期	1	必修	○	医薬化学	永田 和弘
	専門	講義	生命活動を担う分子 (細胞の構造、機能と情報伝達)	後期	1	必修	○	腫瘍細胞生物学	柴沼 質子
	専門	講義	生体防御反応を担う組織、細胞、分子	後期	1	必修	○	腫瘍細胞生物学	森 一憲
	専門	講義	生活環境と健康	後期	1	必修	○	衛生薬学	原 俊太郎
	専門	講義	薬剤師と医薬品に係る法規範 I	後期	1	必修	○	社会薬学	赤川 圭子
	専門	講義	薬と疾病(悪性腫瘍)	後期	1	必修	○	がんゲノム医療薬学	藤田 健一
	専門	講義	薬と疾病(感染症)	後期	1	必修	○	感染制御薬学	前田 真之
	専門	講義	薬の効き方	後期	1	必修	○	薬理学	野部 浩司
	専門	演習	在宅チーム医療と倫理 T B L II (学部連携)	前期前半	0.5	必修		教育実践学	田中 佐知子
	専門	演習	コミュニケーション	前期後半	1	必修		社会薬学	岸本 桂子
	専門	演習	生と死	後期	1	必修		教育実践学	田中 佐知子
	専門	演習	生理から病態へ 演習	後期	1	必修		生理・病態学	巖本 三壽
	専門	演習	薬学基礎から薬物治療へ 演習	後期	0.5	必修		薬理学	柴田 佳太
	専門	演習	学修技法とスチューデントデベロップメント ※1	通期	-	必修		教育企画・評価学	小林 靖奈
	専門	演習	キャリアデザイン ※2	通期	-	必修		毒物学	沼澤 聡
	専門	実習	物質の性質・分析・製剤化と製剤試験法	前期前半	1.5	必修		生物物理化学 生体分析化学 薬剤学	合田 浩明 加藤 大 原田 努
	専門	実習	医薬品の化学 実習	前期後半	1.5	必修		医薬化学	福原 潔
	専門	実習	人体の成り立ちと機能 実習	前期後半	1	必修		生理・病態学	巖本 三壽
専門	実習	診療の流れを知る 実習	前期後半	1	必修		臨床栄養代謝学	千葉 正博	
専門	実習	生命体の成り立ち 実習	後期	2	必修		生物化学 感染制御薬学 腫瘍細胞生物学	板部 洋之 石野 敬子 柴沼 質子	
合計				最低履修科目数	34科目	必要要件単位数	35単位		

※ 対象科目:再試験受験資格判定科目、進級試験対象科目

※1 学修技法とスチューデントデベロップメントについては、2年次から履修し第6学年において単位を算定する

※2 キャリアデザインについては、2年次から履修し第5学年において単位を算定する

前期必修科目数 18科目

後期必修科目数 16科目

前期必要要件単位数 18.5単位

後期必要要件単位数 16.5単位

最低履修科目数 34科目 必要要件単位数 35単位

※対象科目(前期11科目、後期11科目):再試験受験資格判定科目、進級試験対象科目

薬学部履修要項 別表(2)

学年	科目分類	授業形態	科目名	開講期	単位数	必修選択	対象科目	科目責任者	
								部門	名前
第3学年	専門	講義	薬学英語 1	前期	1	必修		教育実践学	田中 佐知子
	専門	講義	薬剤師と医薬品に係る法規範Ⅱ	前期	1	必修	○	医薬品評価薬学	亀井 大輔
	専門	講義	溶液の性質	前期	1	必修	○	生物物理化学	合田 浩明
	専門	講義	生体分子の化学	前期	1	必修	○	医薬化学	福原 潔
	専門	講義	薬物の体内動態	前期	1	必修	○	薬物動態学	佐藤 均
	専門	講義	生体防御反応の応用と制御	前期	1	必修	○	腫瘍細胞生物学	柴沼 質子
	専門	講義	薬と疾病(神経・精神系疾患)	前期	1.5	必修	○	教育実践学	田中 佐知子
	専門	講義	薬と疾病(呼吸器系疾患)	前期	1	必修	○	生理・病態学	巖本 三壽
	専門	講義	薬と疾病(消化器系疾患)	前期	1	必修	○	薬物治療学	向後 麻里
	専門	講義	臨床で用いる分析技術	前期	1	必修	○	生体分析化学	加藤 大
	専門	講義	処方箋と調剤	前期	1	必修	○	天然医薬治療学	栗原 竜也
	専門	講義	製剤の性質	前期	1	必修	○	薬剤学	原田 努
	専門	講義	医薬品情報と患者情報	前期	1	必修	○	感染制御薬学	前田 真之
	専門	講義	薬学英語 2	後期	1	必修		教育実践学	田中 佐知子
	専門	講義	製剤設計	後期	1	必修	○	薬剤学	原田 努
	専門	講義	機器分析	後期	1	必修	○	生体分析化学	加藤 大
	専門	講義	医薬品の化学	後期	1	必修	○	医薬化学	福原 潔
	専門	講義	生命活動を担う分子(ゲノム情報とバイオ医薬品)	後期	1	必修	○	衛生薬学	原 俊太郎
	専門	講義	医薬品・化学物質の代謝反応	後期	1	必修	○	毒物学	芦野 隆
	専門	講義	薬物動態の解析	後期	1	必修	○	薬物動態学	佐藤 均
	専門	講義	栄養と健康	後期	1	必修	○	衛生薬学	桑田 浩
	専門	講義	薬と疾病(循環器系疾患)	後期	1	必修	○	薬理学	野部 浩司
	専門	講義	薬と疾病(代謝系・内分泌系疾患)	後期	1	必修	○	薬理学	野部 浩司
	専門	講義	薬と疾病(泌尿器系・生殖器系疾患)	後期	1	必修	○	薬物治療学	向後 麻里
	専門	講義	薬と疾病(免疫・アレルギー疾患)	後期	1	必修	○	生理・病態学	巖本 三壽
	専門	講義	社会保障制度と医療経済	後期	1	必修	○	社会薬学	岸本 桂子
	専門	演習	薬剤師の使命	前期	1	必修		教育実践学	加藤 里奈
	専門	演習	薬と疾病チュートリアル1(神経疾患)	前期	1.5	必修		毒物学	芦野 隆
	専門	演習	薬剤師に求められる倫理観	後期	1	必修		教育実践学	田中 佐知子
	専門	演習	研究倫理と統計	後期	2	必修		毒物学	沼澤 聡
	専門	演習	薬と疾病チュートリアル2(循環器疾患)	後期	0.5	必修		生理・病態学	谷岡 利裕
	専門	演習	学部連携チーム医療PBLⅡ・在宅ケア	後期	2	必修		教育実践学	田中 佐知子
専門	演習	キャリアデザイン ※1	通期	-	必修		毒物学	沼澤 聡	
専門	実習	健康と環境 実習	前期	1	必修		衛生薬学	原 俊太郎	
専門	実習	製剤化と製剤試験法 実習	前期	1	必修		薬剤学	原田 努	
専門	実習	調剤・患者対応入門 実習	前期	1	必修		薬物治療学	大林 真幸	
専門	実習	薬の効くプロセス 実習	前期	1	必修		薬理学	野部 浩司	
専門	実習	急性期医療と薬剤師 実習	後期	1	必修		医薬品評価薬学	亀井 大輔	
合計							最低履修科目数 37科目	必要要件単位数 39.5単位	

※ 対象科目:再試験受験資格判定科目、進級試験対象科目

※1 キャリアデザインについては、2年次から履修し第5学年において単位を算定する

前期必修科目数 18科目

後期必修科目数 19科目

前期必要要件単位数 19単位

後期必要要件単位数 20.5単位

最低履修科目数 37科目 必要要件単位数 39.5単位

※対象科目(前期12科目、後期12科目):再試験受験資格判定科目、進級試験対象科目

薬学部履修要項 別表(2)

学年	科目分類	授業形態	科目名	開講期	単位数	必修選択	対象科目	科目責任者	
								部門	名前
第4学年	専門	講義	薬となる化合物の構造と性質	前期	1	必修	○	医薬化学	福原 潔
	専門	講義	分子・細胞から生理・病態へ	前期	1	必修	○	生物化学	板部 洋之
	専門	講義	漢方医学の実践	前期	1	必修	○	天然医薬治療学	川添 和義
	専門	講義	日常生活と健康	前期	1	必修	○	衛生薬学	原 俊太郎
	専門	講義	薬物送達システム	前期	1	必修	○	薬剤学	中村 明弘
	専門	講義	薬と疾病(眼・耳鼻咽喉・骨関節疾患)	前期	1	必修	○	薬理学	柴田 佳太
	専門	講義	薬と疾病(血液・小児・皮膚疾患)	前期	1	必修	○	生理・病態学	谷岡 利裕
	専門	講義	個別化医療	前期	1	必修	○	薬物治療学	向後 麻里
	専門	講義	地域医療とプライマリーケア	前期	1	必修	○	社会薬学	岸本 桂子
	専門	講義	薬毒物と中毒	前期	1	必修	○	毒物学	沼澤 聡
	専門	講義	放射性医薬品の利用と管理	後期	1	必修	○	衛生薬学	原 俊太郎
	専門	演習	学部連携チーム医療PBLⅢ・在宅チーム医療と倫理TBLⅢ	前期	1.5	必修		教育企画・評価学	小林 靖奈
	専門	演習	EBM演習	前期	1	必修		医薬品評価薬学	亀井 大輔
	専門	演習	薬と疾病チュートリアル3(がん疾患)	前期	0.5	必修		がんゲノム医療薬学	藤田 健一
	専門	演習	輸液と栄養	前期	0.5	必修		薬物動態学	杉山 恵理花
	専門	演習	医薬品評価と開発 ※1	後期	-	必修		医薬品評価薬学	亀井 大輔
	専門	演習	実務と基礎の複合演習	後期	1	必修	○	教育実践学	加藤 里奈
	専門	演習	キャリアデザイン ※1	通期	-	必修		毒物学	沼澤 聡
	専門	実習	実務実習事前学修	後期	4	必修		医薬品評価薬学	亀井 大輔
	専門	実習	病院実習1 ※1	後期	-	必修		病院薬剤学	中村 明弘
専門	実習	薬学研究入門	通期	6	必修		講座主任		
合計					最低履修科目数	18科目	必要要件単位数	25.5単位	

※ 対象科目:再試験受験資格判定科目、進級試験対象科目

※1 病院実習1、キャリアデザイン、医薬品評価と開発については単位算定は第5学年において行う

前期必修科目数 14科目

後期必修科目数 3科目

前期必要要件単位数 13.5単位

後期必要要件単位数 6単位

通期必修科目数 1科目

通期必要要件単位数 6単位

最低履修科目数 18科目 必要要件単位数 25.5単位

※対象科目(前期10科目、後期2科目):再試験受験資格判定科目、進級試験対象科目

薬学部履修要項 別表(2)

学年	科目分類	授業形態	科目名	開講期	単位数	必修選択	科目責任者	
							部門	名前
第5学年	専門	演習	症候と疾患推測	前期	0.5	必修	医薬品評価薬学	亀井 大輔
	専門	演習	医薬品の副作用・有害事象	後期	1	必修	病院薬剤学	百 賢二
	専門	演習	アドバンスト薬学英語 ※2	後期	-	必修	講座主任	
	専門	演習	応用薬学演習 ※2	後期	-	必修	毒物学	沼澤 聡
	専門	演習	症例演習と薬物療法の実践	通期	2	必修	薬物治療学	大林 真幸
	専門	演習	医薬品評価と開発	通期	0.5	必修	医薬品評価薬学	亀井 大輔
	専門	演習	キャリア教育 ※1	通期	0.5	必修	毒物学	沼澤 聡
	専門	演習	臨床心理学の活用	通期	1	必修	教育実践学	田中 佐知子
	専門	実習	学部連携病棟実習	後期	1	必修	教育企画・評価学	小林 靖奈
	専門	実習	学部連携地域医療実習 I・II ※2	後期	-	自由選択	社会薬学	岸本 桂子
	専門	実習	薬学研究 ※2	後期	-	必修	講座主任	
	専門	実習	海外における薬剤師の役割を知る	後期	②	自由選択	生物化学	板部 洋之
	専門	実習	病院実習1 ※1	通期	4	必修	病院薬剤学	中村 明弘
	専門	実習	病院実習2(精神医療実習を含む)	通期	12	必修	病院薬剤学	中村 明弘
	専門	実習	薬局実習	通期	10	必修	薬物治療学	向後 麻里
	合 計					最低履修科目数	10科目	必要要件単位数

※1 病院実習1、病院実習2(精神医療実習を含む)、薬局実習、キャリア教育、医薬品評価と開発については、4年次から履修した時間数を第5学年において単位を算定する。

※2 応用薬学演習、薬学研究、アドバンスト薬学英語、学部連携地域医療実習については、5年次から履修し第6学年において単位を算定する

前期必修科目数 1科目

後期必修科目数 2科目

前期必要要件単位数 0.5単位

後期必要要件単位数 2単位

通期必修科目数 7科目

通期必要要件単位数 30単位

最低履修科目数 10科目 必要要件単位数 32.5単位

薬学部履修要項 別表(2)

学年	科目分類	授業形態	科目名	開講期	単位数	必修選択	科目責任者	
							部門	名前
第6学年	専門	演習	アドバンスト薬学英語 ※1	前期	1	必修	講座主任	
	専門	演習	応用薬学演習 ※1	通期	9	必修	薬物治療学	向後 麻里
	専門	実習	学部連携病棟実習	前期	1	必修	教育企画・評価学	小林 靖奈
	専門	実習	薬剤師の臨床判断	前期	②	自由選択	医薬品評価薬学	亀井 大輔
	専門	実習	学部連携地域医療実習Ⅰ	前期	②	自由選択	社会薬学	岸本 桂子
			学部連携地域医療実習Ⅱ		④			
	専門	実習	薬学研究Ⅰ	通期	17	選択必修 ※2	講座主任	
薬学研究Ⅱ			15					
薬学研究Ⅲ			13					
合計					最低履修科目数	4科目	必要要件単位数	26または28単位※2

※1 応用薬学演習、アドバンスト薬学英語については、5年次から履修した時間数を第6学年において単位を算定する。

※2 自由選択科目(薬剤師の臨床判断、学部連携地域医療実習Ⅰ・Ⅱ)を選択しない学生については、「薬学研究Ⅰ」を履修する。
 薬剤師の臨床判断、5年次または6年次に学部連携地域医療実習Ⅰを選択した学生、あるいは第5学年において「海外における薬剤師の役割を知る」を履修した学生は「薬学研究Ⅱ」を、5年次または6年次に学部連携地域医療実習Ⅱ、または、薬剤師の臨床判断と5年次または6年次に学部連携地域医療実習Ⅰを選択した学生は「薬学研究Ⅲ」を履修する。

前期必修科目数 2科目

前期必要要件単位数 2単位

通期必修科目数 2科目

通期必修単位数 24または26単位

最低履修科目数 4科目 必要要件単位数26または28単位